

第16回住民・福祉・教育小委員会（議事概要）

日 時 平成15年6月11日（水） AM9：30～AM11：03

場 所 アグリセンター大宮

出席者数 12人（欠席2人）

傍聴者数 2人

主な議題

- （1）新市建設計画について
- （2）次回の議題
- （3）次回の小委員会の予定

議事経緯

会議成立確認

議事

- （1）新市建設計画について

主な意見

委 員 市民参加型まちづくり支援事業の中にある「地域振興基金」とは、39億の基金の利子で地域の活動を支援していくということだが、近年利率が低く基金本体を取り崩して支援を行うということもあり得るのか。

事務局 地域振興基金は、合併特例債が認められる特殊な制度であり、6町の一体感を醸成するため、また6町が個別に行ってきた行事など地元の自主的活動への支援を維持継承するために設置が認められるものである。地域振興協議会の設置（案）の中で、その財源の運用については地域振興協議会での協議事項としている。現在の利率は低いが、将来的には期待のできる財源である。

委 員 網野町議会では、特別委員会の中で、財政計画では10年間の黒字となっているが、その後が心配といった意見があったがどうか。また、支所の体制についてどこまで調整されているのか。

事務局 財政計画は市として行政運営ができるように考えて作成するもので、赤字の計画は組めない。将来的な自治制度、財政制度の見直しについては見えないが、将来苦労しないで済むよう努力したい。支所については、基本的に住民の方は支所に行っていただけであれば何でも済む、例えば住所変更や戸籍、出生届といったことはもとより、さらに山や道が崩れたといったことにも対応ができるようにと考えている。

委 員 組織・機構の中で、助役の複数制が言われているがどうか。

事務局 6町域にある公立の2病院、5診療所については新市に引き継ぐことが確認され

ており、現在非常に医師確保が難しいという状況の中、仕事のひとつにこの対応をする必要から、助役の複数性は検討せざるを得ないと考えている。

委員 地域の特性を活かした個性豊かな施策の展開という「地域核」の考え方、また各町がこれまでの施策を引き継いでいくという船井郡の連合型合併など、地域の住民の関心は高いと考えるが、どう協議されているか。

事務局 現在、各町で振興計画に基づいたまちづくりが進められており、新市ではそれを「地域核」という表現にして尊重していかなければならないと考えている。また、連合型合併の話があるが、当方の合併においても支所や地域振興協議会を置くことにより同様の取り組みをしようとしている。なお、連合型は法律の改正が必要と考えている。

委員 特例の延長についてはどうなっているか。また、合併期日を4月1日とした場合、年度がひとつ先になるということから、その分特例債の減額となるのか。

事務局 特例の延長の件は、まだ今国会の場に出ていない。特例債の総額については影響はない。

委員 峰山、大宮、網野町のかかるゾーニングで、既存の商業集積の活性化、駅前整備、丹後の玄関口とあるが、どういう意図か。西の玄関口としては久美浜町があるが、東の玄関口ばかりが論じられていると考える。もっと、各町ごとに賑わいを創出するようなまちづくりを考えていただきたい。

委員 新市では、若い人が楽しめる映画館、美術館、スポーツ観戦のできる競技場などを考えてください。

委員 地域振興協議会のメンバーは、PTAなど各種団体の代表という形にしていきたい。また、女性の意見を反映させるため、ある程度の女性委員を置いていただきたい。

委員 地域振興協議会では、世代の幅を設けて若い世代の委員を入れ、幅広く住民の声をひろうようにしていきたい。

委員 第3セクターの取扱いはどうなっているか。

事務局 総務・企画・議会小委員会の債権債務の取扱いの中で、出資金、出捐金についてはそのまま新市に継承するという調整となったことにより、そのまま引継ぎをすることとなっている。

委員 マイクロバスについては、婦人会といった公共的団体への貸し出しが難しくなると聞いているがどうか。またバスは、新市で3台程度ということだが、現在各町にあるバスはどうなるのか。

事務局 マイクロバスについては、国から法律上の厳格な運用を求められており、ご理解いただきたい。また現有のバスについては、耐用年数を見ながら廃車して適正配置を考えており、即座に減少させることはない。

委員 財政計画では、10年間でかなり予算が減額となっているが、10年後は相当厳しい状況ではないか。また、峰山、大宮、網野の庁舎は分庁方式で使用されるが、残りの支所については空きスペースができると考えるので、そこを地域で利用するというにならないか。

事務局 財政計画の最初の3年は、基金造成を盛り込んでいるが、あとはずっと330億

円の予算規模で安定していると考える。庁舎のスペースや運用などについては、相手方があるため合併が決定された後でないと、実際に当たっていくことができない。

(2) 次回の議題について
協定項目の協議について

(3) 次回の小委員会の予定
第 17 回住民・福祉・教育小委員会
日 時 平成 15 年 7 月 10 日 (木) 午前 9 時 30 分 ~
場 所 アグリセンター大宮

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局
(速報のため、事後修正の可能性あり)